

# 委員会報告

2015～2016年度

No.1

|       |      |                  |
|-------|------|------------------|
| 第 6 回 | 委員会名 | 献血・献眼・献腎・骨髓移植委員会 |
|-------|------|------------------|

委員長名 L 上野 繁幸

|      |                  |  |  |         |   |         |
|------|------------------|--|--|---------|---|---------|
| 開催日時 | 2016年 1月 15日 金曜日 |  |  | 15時 45分 | ～ | 17時 30分 |
|------|------------------|--|--|---------|---|---------|

|      |                |  |  |  |  |  |
|------|----------------|--|--|--|--|--|
| 開催場所 | キャビネット事務局 大会議室 |  |  |  |  |  |
|------|----------------|--|--|--|--|--|

|     |   |             |   |              |   |             |
|-----|---|-------------|---|--------------|---|-------------|
| 出席者 |   | 近藤地区ガバナー    |   | 村木第1副地区ガバナー  |   | 細川第2副地区ガバナー |
|     | ○ | L 上野 繁幸 委員長 | ○ | L 福井清太 副委員長  | ○ | L 吉田秀子 副委員長 |
|     | ○ | L 北見正雄 副委員長 | ○ | L 浦野正美 副委員長  | ○ | L 松永 清 委員   |
|     | ○ | L 角田 美智子 委員 | ○ | L 川島 富美子 委員  |   | L 宮内 明 委員   |
|     |   | L 椿 佳生子 委員  | ○ | L 平沢 礼子 委員   |   | L 曾我部 大 委員  |
|     |   | L 高橋 淳 委員   |   | L 根岸 久美子 委員  | ○ | L 善波 栄治 委員  |
|     | ○ | L 佐藤 富男 委員  | ○ | L 芝田 好晃 委員   | ○ | L 大鷲 和孝 委員  |
|     |   | L 東宮 博士 委員  |   | L 委員         |   | L 委員        |
|     |   | L 委員        |   | L 委員         |   | L 委員        |
|     |   |             |   |              |   |             |
|     |   |             |   |              |   |             |
|     |   | 出席オブザーバー    |   |              |   |             |
|     | ○ | L 橋本 光祥 SPA | ○ | L 半谷英治 担当副会計 |   |             |
|     |   |             |   |              |   |             |

|     |                    |                      |  |  |  |  |
|-----|--------------------|----------------------|--|--|--|--|
| 次 第 | 司会・進行 L 福井 清太 副委員長 |                      |  |  |  |  |
|     | 1                  | 上野委員長挨拶              |  |  |  |  |
|     | 2                  | 橋本SPA挨拶              |  |  |  |  |
|     | 3                  | キャビネット報告 L半谷英治 担当副会計 |  |  |  |  |
|     | 4                  | 前回議事録確認              |  |  |  |  |
|     | 5                  | 審議 下記議題による           |  |  |  |  |
|     | 7                  | 次回開催確認(日程確認・調整)      |  |  |  |  |
|     | 8                  | その他                  |  |  |  |  |
|     |                    |                      |  |  |  |  |
|     |                    |                      |  |  |  |  |
|     |                    |                      |  |  |  |  |

|     |           |   |  |  |  |  |
|-----|-----------|---|--|--|--|--|
| 議 題 | 審議経過事項の概要 |   |  |  |  |  |
|     | 1         | キャビネット報告 L半谷英治 担当副会計  |  |  |  |  |
|     |           | ①2月25日開催のガバナーアワード審査会(AP西新宿14時～16時)に、本委員会より6名が出席。  |  |  |  |  |
|     |           | ②3月3日に仙台で開催予定の東北復興支援チャリティーコンサートは、当初330A地区主催・332C地区共催という形でしたが、330A地区および332C地区の2地区の主催で行う事となりました。尚、332C地区の方が多数お手伝いで参加するので、当委員会としては手伝いは動員せず、希望者のみ10000円のドネーションを出してコンサートを鑑賞に足を運んでください。 |  |  |  |  |
|     |           | ③3月7日キャビネット会議開催。  |  |  |  |  |
|     |           | ④3月15日アイバンクセミナー開催。当日第一・第二ガバナー不在の為、期日の変更も検討されましたが、アイバンク協会講師の都合上、予定通りに行う事となりました。  |  |  |  |  |

| 議 題 | 審議経過事項の概要   |
|-----|---|
| 2   | 4献 各クラブアンケートについて(回収集計報告等)   |
|     | 上野委員長「昨年暮れに各委員の協力で各クラブに声をかけて頂いた結果、締切後も追加で多数の返事がありました。集計の結果、70前後のクラブが4献に関するセミナー・勉強会に興味を持っていることが判りました。これをふまえ、3月15日のセミナーの案内文を作成し、各クラブに配布致します。」   |
| 3   | アイバンクセミナー 3月15日開催について(会場及びプログラム等)   |
|     | アイバンクセミナー開催の案内と予算(ともに案)が各委員に配布され、内容につき活発な議論を行いました。  |
|     | 案内(案)の内容は、3月15日の15時～17時(受付14時より)にAP西新宿にて登録料4000円を集めての開催となっていました。  |
|     | 上野委員長「当初案では近藤ガバナー・当委員会のL上野・社会福祉・障がい者支援委員会の御厨委員長・クラブアクティビティ活性化プロジェクト(CAP)委員会の阿部委員長の連名で作成しました。ただ、案内を1月中に出さなくてはならず、CAP委員会は日程の兼合いで不参加、社福委員会は参加となりました。なので、今回のイベントは当委員会と社福委員会の両方で呼びかけを行い、案内文の題名等も変わると思います。社福委員会は俳優の小西博之さんに講師の依頼をしています。小西さんは、腎臓ガンを克服した経験を持ち、パラリンピックの車椅子バスケットボールチームを応援していて、関連した話で福祉や臓器移植について参加者に興味を持って頂き、5月に社福委員会で主催する駒沢競技場で行われる社福委員会イベントにもつなげてゆきたいと考えているようです。」 |
|     | アイバンク協会は協会認定サポーターの新規・更新の為には説明の時間が最低で60～90分程度必要だとし、アイバンク協会の50周年記念DVD「ヒカリ」については、ドラマ部分は放映しなくても良いので、後半のライオンズクラブの活動状況やドナー数の推移等のドキュメント部分を見てもらい、330A地区の参加者のサポーターとしての認識と自覚を上げてほしいとの要望を持っているようです。  |
|     | 上野委員長「アイバンク協会の要望通りのセミナー内容で参加者の興味が2時間持つのか？人が集まるのか？委員の皆さんの意見をお聞きしたい。」   |
|     | 川島委員「セミナーに人を呼ぶ為にはジャニーズのタレントが出演しているDVDや小西さんの様な芸能人の講話等、話題性を目玉にした方が人が集まりやすい。」  |
|     | 佐藤委員「参加者の心に訴えるのは、DVDでもドラマのほうであり、数字の羅列では人の心は動かないのでは。」  |
|     | 福井副委員長「会場は三時間おさえていますが、受付や撤収の時間を考慮するとセミナーの時間は実質1時間45分しか取れないと思います。」   |
|     | 橋本SPA「委員会主催イベントと、アイバンクセミナーを別に開催しては？それなら社福の方も講演等に十分な時間をとれる。」   |
|     | 吉田副委員長「当初案に登録料4000円と記載があったが、そのうち3000円がアイバンク協会の公認サポーター制の為の金額だと参加者が後から知った場合に、コンセンサスが得られるのか？」  |
|     | 川島委員「確かに4000円は高いと思う。昨年行った献血・骨髄移植のセミナーでは、  |

| 議 題          | 審議経過事項の概要  |
|--------------|--|
|              | 経費はドナー関係の講演料10000円のみだったので、登録料も安かった。」   |
|              | 大鷲委員「イベントを2部制にしたら良い。アイバンクセミナーの受講希望者は追加で3000円を払ってサポーター認定証をもらう事としてはどうか。そもそも協会認定サポーターの価値とは何か。」  |
|              | 上野委員長「皆さんの意見をまとめると、やはり2部制にした方が良いと感じる。まず小西さんの講演、DVD、5月の社福委員会の宣伝等で2時間。会場をキャビネット事務局に移して1時間半程度のアイバンクセミナーという形ではどうでしょうか。」  |
|              | 浦野副委員長「啓蒙イベントを単独のできるのであれば、献血も一緒にしては。」  |
|              | 川島委員「血液センターの大久保部長様に連絡したところ、委員会のイベントを若松町に移転した血液センターで行ってはどうのご提案を頂きました。無料で200人程度入れる会議室があり、プロジェクター等の設備も自由に使えます。」   |
|              | 大鷲委員「そちらに30～40人入れる部屋があるなら、アイバンクセミナーもそこでできるのでは。」  |
|              | 浦野副委員長「イベントの登録料は安く設定して、セミナー受講希望者からは追加で3000円を頂くということではいかがでしょうか。」  |
|              | 上野委員長「あまり好き勝手に使わせて頂いては血液センター側に失礼にはならないか。献血事業団と他の団体との関係にも配慮が必要。」  |
|              | 川島委員「大久保様にお聞きしたところでは、これまでは協会同士の交流はあまり無かったので、是非挨拶させて頂きたいとのことです。また、血液センターが若松に移動して新しくなった事がまだ知られておらず、2階の献血ルームにはまだ一人の来訪もない状態なので、受講者の皆さんにそのあたりのことを案内してもらえれば有難いということでした。」 |
|              | 吉田副委員長「若松河田で2部制で行うならば通して4000円の登録料で案内しても良いのではないか。」  |
|              | 半谷担当副会計「2部のアイバンクセミナー受講者が1部受講者よりも少数になったとして、一律4000円集めた中から2部のセミナー参加人数分×3000円を支払う事をアイバンク協会が納得するのか。また、サポーター認定の為には前もって受講者の名簿を提出しなくてはならないので、その点も考慮しなくてはならない。」             |
|              | 浦野副会長「2部制をやめて、同じ日に同じ場所で行うとしても、別なものとして案内しては。そのうえで、時間的にはアイバンクセミナーを先に行えば良い。」  |
|              | 以上審議の結果、平成28年3月15日に若松河田の血液センターにおいてアイバンク協会認定サポーター更新および新規認定の為のセミナーと、当委員会主催のフォーラムを行うこととなりました。タイムスケジュール等は後日決定の上、1月末に各クラブ宛に両イベントの告知をします。                                |
| 次回開催日時<br>場所 | 2016年 2月 5日 金曜日 15時 45分 ～ 17時 30分<br>キャビネット事務局 小会議室  |
|              | 作成者 L 善波 栄治  |